

公開プロセス結果の令和5年度予算概算要求への反映状況

(単位：百万円)

事業番号	事業名	令和3年度 補正後予算額	令和3年度		公開プロセス		令和4年度 当初予算額 A	令和5年度 要求額 B	差引き B - A = C	反映状況		備考	
			執行可能額	執行額	評価結果	取りまとめコメント(概要)				反映額	反映内容		
005	地域企業経営人材マッチング促進事業	1,931	3,063	410	事業全体の抜本的な改善	本事業は、地域経済の活性化にとって重要な施策となることに疑いはなく、また先行する内閣府による先導的人材マッチング事業の実績からみて本事業の潜在的ニーズも認められるところである。 しかし、新型コロナ禍等の影響があったとはいえ、成果目標の達成に大きな課題が認められる。 そこで、本事業の本来の目的及び本事業を金融庁が担うことの意義を踏まえた上で、①類似する内閣府事業との相乗効果を発揮するための更なる連携強化や、統合可能性の検討、②補助金額の妥当性の検証、③人材に関する情報の非対称性の解消等の人材マッチングの課題への対応の検討、④個人を対象にした募集を含む、より効果的な周知広報の実施、⑤金融庁としてのモニタリング等を通じ、本事業に対し新たな視点で真に必要な支援の検討などの観点から、事業全体の抜本的な改善が求められる。	-	-	-	-	年度内に改善を検討	【所見を踏まえた改善点】 ・先導的人材マッチング事業を実施する内閣府との更なる連携強化や個人を対象にした募集を開始する及びプログレスレポートで事例を紹介するといった、より効果的な周知広報等の事業改善を実施するほか、予算査定プロセスの中で補助金額の妥当性を検証していく。人材に関する情報の非対称性の解消等の人材マッチングの課題への対応については、補助事業者と連携しつつ引き続き検討していく。 【概算要求における反映状況】 ・外部有識者の所見については、予算査定プロセスの中で検討を進める。	
合 計													

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注3. 「反映内容」欄の「廃止」、「縮減」、「執行等改善」、「予定通り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：令和4年度の点検の結果、事業を廃止し令和5年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）

「縮減」：令和4年度の点検の結果、見直しが行われ令和5年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の縮減を行うもの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）

「執行等改善」：令和4年度の点検の結果、令和5年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）

「年度内に改善を検討」：令和4年度の点検の結果、令和5年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、令和3年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。）

「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し令和4年度予算概算要求において予算要求しないもの。

「現状通り」：令和4年度の点検の結果、令和5年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの（廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの）